

オール与党の県会議員にチェック機能なし 何も言えない知事では困ります

県会議員も不正だらけ



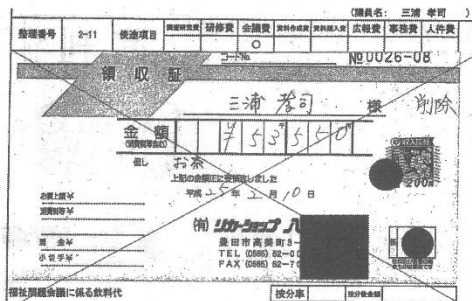
2014年9月7日

愛知民報

(第三種郵便物認可)

第2225号

(2)



白紙領収書を使って偽造されたお茶代5万3550円の領収書。不適切請求が発覚し削除された。

止まない政務調査・活動費乱用 “号泣”ないが同体質

愛知県議会

県議1人当たり月5万円、年600万円を区)の県議が辞職した使える政務調査費・政務活動費の不正受給の後も乱用が止まりません。減税日本(名古屋)市

自民白紙領収書

8月、現県議会議員の三浦孝司議員(自民・豊田市)が、業者から得た白紙領収書45枚を使用したが発覚しました。

減税コピペ報告書

7月、減税日本の半田晃士議員(名古屋市中西区)が政務活動費73万円をつかい、知人女性に海外視察を委託。県議に提出された調査報告書はほとんどが他の文庫をコピーして貼り付けた「コピペ」であることが判明しました。

公明錦3駐車料

8月、公明党の大飼明佳議員(同北区)が、錦3丁目の駐車料に「北区での福祉行政の意見収集駐車代」の名

議会再生

共産進出
しかない

日本共産党の林信敏元愛知県議は「県政監視役の共産議員がないオール与党県議には自己点検力も自浄力もありません。バレなげや取り得で、あの号泣県議と同体質です。議会再生は共産党の進出しが重要です」と語っています。

県議会 政調費

自民・民主・公明

不当利得

2009年度に愛知県議会の自民、民主、公明の3会派に支給された政務調査費が事務所家賃や自動車のリース代に使用されたのは違法だとして、名古屋市民オンブズマンが知事を相手取り、計811万5千円を返還させるよう求めた訴訟の判決で、名古屋地方裁判所が裁示しています。

会派名	不当利得が指摘された県議(2009年)
自民党県議団 1313万1677円	筒井タカヤ、川本明良、内田康宏、小林功、松川浩明、奥村悠二、鈴木孝昌、深谷勝彦、伊藤勝人、杉浦孝成、吉田徳保、酒井庸行、大見正、森下利久、坂田憲治、須崎かん、川嶋太郎、加藤精重、鈴木憲、大竹政人、寺西学、日高昇、浜田一徳、直江弘文、小出典聖、吉川伸二、長坂康正、三浦孝司、沢田丸四郎、浅井喜代治、中野治美、吉田真人、石黒栄一、伊藤辰夫、原欣伸、藤川政人
民主党県議団 1204万8121円	塚本久、西川厚志、柏熊光代、近藤良三、山田幸洋、住田宗男、浜崎利生、高橋正子、森井元志、久野てつお、水谷満信、かじ山義章、中村すすむ、安藤としき、長江正成、古俣泰浩、浅井よしとか、谷口友美、柴田高伸、鈴木あきのり、天野まさき、小山祐、榊原康正、黒川節男、富田昭雄、波形昌洋、杉岡和明、中村友美、原田信夫、水野豊明、仲敬助、渡辺まさし、金澤利夫
公明党県議団 342万3934円	桂俊弘、鬼頭英一、岩田隆喜、渡会克明、木藤俊郎、小島丈幸、米田展之

判決文より作成。金額は不当利得合計額。県議名は順不同